

吉野正人さんって何している人？

吉野正人さんはこれまで、八雲学童保育クラブ父母会会長・目黒区立八雲小学校PTA会長・目黒区立小学校PTA連合会会長・目黒区立第十中学校PTA会長・目黒区立八雲小学校評議員・八雲住区住民会議「八雲の夏まつり」実行委員長など、子どもたちと地域の大人たちとの懸け橋として、活動してきました。その間、行政にしかできないこと、行政に対する不満を感じ、自ら地域の声を行政に反映させるため、4年前の目黒区議会議員選挙で初当選しました。当選後は、現場の生の声を聞き、その声を区政に活かすため区民相談を1,092件行い、その都度、区役所の担当所管と区民目線で話をしてきました。これからも、ずっと子どもたちが暮らし続けたいと思える目黒をつくるため、365日24時間、働き続けます！

進路対策

グローバル人材育成のため語学教育の拡充や高校受験相談会を行い、区立中学校進学率55%という数字を改善させます。

環境対策

多忙化する教員への事務専門職員を配置し、教員の業務を軽減し、学びの場の環境を改善できるよう努めます。

震災対策

区立小中学校への折りたたみ式ヘルメットの導入、下水道直結トイレに子ども用便座を配備し、万が一の事態に備えます。

吉野正人さんの地域に対する考え方は？

議員になる前から行っている「あいさつ運動」も11年目を迎え、地域で会う子どもたちと笑顔を交わせるようになりました。「あいさつ運動」を始めるきっかけは、地域の子どもの顔を覚えるためでした。なぜなら、当時、子どもが犠牲になる事件が発生し、子どもたちは知らない大人から声を掛けられると不審者と思うようになり、大人も子どもたちへ声が掛けづらくなっていったからです。本来であれば、地域全体で子どもたちを見守らなければならないのに…。そこで、「あいさつ運動」を行うことにより、子どもたちとお互い顔見知りになり、地域で会った時には気楽に言葉が交わせる様になればよいと考えました。地域の大人と子どもたちが気楽にあいさつを交わしている町には、犯罪者が子どもたちに近づきにくく、結果的に犯罪が発生しない安全・安心な町になっていくはずですよ。

目黒の学校を守ることは、目黒の子どもたちを守ること。これからも「あいさつを気楽に交わせるまちづくり」のために「あいさつ運動」を続けていきます。そして、地域の声を子どもたちの未来へつなげていきます。



【相談先区議会議員の選び方】

- 地域の困りごと → 近くにお住いの区議
- 政治や政策について意見したい → 支持政党に所属する区議
- テーマ別相談(介護、保育、学校など) → その分野に詳しい区議など

区政の困りごと
相談ください!

- 吉野正人は、
 - 八雲 在住
 - 所属党派 刷新めぐる (民主党公認)
 - あいさつ運動 11年!の区議会議員です!